

令和8年度 事業計画書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

学校法人 滋賀学園

I 法人の概要

- ・ 設置する学校の概要(令和8年4月1日現在)

学 校 名	学 部	学 科	定 員		現 員	
			入学定員	総定員	入学数	総 数
びわこ学院大学	教育福祉学部	子ども学科	80	340	62	233
			3年次編入 10		7	
		スポーツ教育学科	40	170	42	134
			3年次編入 5		5	
びわこ学院大学 短期大学部		ライフデザイン学科	80	160	51	101
滋賀学園高等学校		普通科	200	600	244	596
		看護科・ 看護専攻科	40	120	30	105
びわこ学院大学 附属こども園あつぷる			80	80	20	68

- ・ 役員・教職員の概要(令和8年4月1日現在)

【役員】

理事	理事長 森 美和子 (常 勤)	監 事	小林 洋之 (非常勤)
	理 事 沖田 行司 (常 勤)	監 事	山本 英司 (非常勤)
	理 事 嬉野 公人 (常 勤)		
	理 事 下田 政寿 (非常勤)		
	理 事 村松 聖 (非常勤)		
	理 事 豊田 三郎 (非常勤)		

【評議員】

評議員 9名

【教職員の概要】

		教員 99名	教員 82名	職員 25名	職員 14名
		(専任)	(非常勤)	(専任)	(非常勤)
〈内訳〉	びわこ学院大学 びわこ学院大学 短期大学部	} 教員 30名	} 教員 69名	} 職員 19名	} 職員 11名
	びわこ学院大学 附属こども園あつぷる 法人本部	教員 17名	教員 4名		職員 4名

II 学園の監査について

◇法人の監査等(予定)

年月	内容
令和8年4月	期首監査(公認会計士)
令和8年5月	令和7年度決算監査(公認会計士)
令和8年5月	学園監事による公認会計士からの監査状況報告聴取
令和8年5月	学園監事による令和7年度監査
令和8年10月	滋賀県子ども・若者部子ども若者政策・私学振興課
令和8年11月	中間監査(公認会計士)
令和9年1月	中間監査(公認会計士)
令和9年3月	中間監査(公認会計士)

III 事業の概要

1 法人本部

(1) 管理・運営体制の強化

- ・改正私立学校法に基づく理事会・評議員会の適切な運営及び管理・運営体制の強化
- ・内部監査の実施 令和8年度内部監査スケジュールの策定
- ・学校法人会計基準の改正に対応した計算書類等の作成
- ・ホームページによる情報の適切な公表

(2) 財政基盤の充実

- ・予算編成方針の策定
- ・予算執行状況の適切な管理
- ・三様監査の実施（監事、公認会計士、内部監査室による）毎年5月、11月
- ・補助金、寄付金等、外部資金獲得
- ・財務計画の策定

(3) 地域に必要とされる学園づくり

- ・建学の精神に基づく、地域に貢献できる人材の育成
- ・高大連携のさらなる充実および内部進学者の増加
- ・学園全体の広報

2 びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部

<重点項目>

1. 学科再編、新学部の構想
 - ① JR 沿線にサテライトの設置
 - ② スポーツマネジメントと総合マネジメントを合わせた新学科・学部構想
2. 教学マネジメント体制の充実
 - ① 執行部体制と部長会の強化
3. 教育保障
 - ① びわこ学院大学短期大学部 募集停止後の教育保障
4. 研究制度の充実
 - ① 個人研究費の申請制度 — 科学研究費への連動
 - ② 学長裁量経費の運用 — 科学研究費申請者の補助・国際学会の補助
5. グローバル化の推進・魅力ある大学づくり
 - ① 海外研修の実施に向けた検討 — フランス ストラスブール大学との協定
 - ② 留学生の受入れ体制の充実 — 留学生科目の充実、日本語と日本文化

<具体的施策>

1. 学生の受入れ
 - ① 大学のカリキュラム改革による魅力の訴求の継続
 - ② 教員養成以外の志望層へのアプローチ強化継続（対象者拡大）
 - ③ 県外生の獲得の強化（エリア拡大）
 - ④ 外国人留学生の獲得
 - ⑤ 継続的な接触の強化（ハウスリストの活用）
 - ⑥ オープンキャンパスの質向上
 - ⑦ 短期大学部募集停止についての真摯な説明
 - ⑧ SNS による広報強化
 - ⑨ 学長や教員の活動を通じた広報と認知度向上
 - ⑩ 入学者選抜の実施方針、選抜方法の検証及び見直し
1. 学修支援
 - ① 教員・職員等による学修支援体制の点検と全学的な実施の徹底
 - ・「学修の記録」や「学生ポータルサイト」、「GPS-Academic」等を積極的に利活用し、効果的な学修支援につなげる。
 - ・学生への情報発信ツールの点検と見直しの検討。
 - ・入学前学習の効果を検証し、学ぶ意欲を向上させ、初年次教育につなげる。
 - ② SA (Student Assistant) の活用による学修支援の充実化
 - ・SA の活用実績を積み上げる。
 - ・SA 自身のスキル向上のための取り組みの効果を検証する。
 - ・休退学の防止のため、「学生ポータルサイト」を使った担任等による個別学修支援を継続する。
 - ③ 外国人留学生や外国にルーツを持つ学生への修学支援について検討する。

- ④ 教員・職員等の協働による円滑な学外実習の運営を図る。
 - ・ガイダンス・オリエンテーション等、事前指導の充実
 - ・教育ボランティアの積極的活用
 - ・電子端末による実習ノートの作成、実習業務のオンライン化の計画検討

3. キャリア支援

- ① 「びわ学キャリア塾」の成果の検証および修正
- ② 教員採用試験、幼稚園・保育士（公立・私立）採用試験、公務員採用試験に向けての指導体制充実
- ③ 企業就職支援—企業の学内説明会
- ④ 自治体や企業との協定及び連携

4. 学生サービス

- ① 学修支援のニーズ把握、総合的な支援策整備、留学生への対応の充実
 - ・学生近況報告書の作成、個々の学修支援ニーズの共有
 - ・外部施設の利用料補助や資格取得奨励金等制度の周知
 - ・学生支援策の充実と学生が把握する機会の提供
 - ・他課と連携した外国人留学生への支援策の充実
- ② 高等教育の修学支援制度改正に伴う周知と対応強化
 - ・個別対応の強化、個々の学生への支援策提供
 - ・奨学金継続のための奨学生情報共有強化と在学中の修学指導の徹底
 - ・学生の理解度向上のための奨学金説明会の質の向上
 - ・学内奨学生制度の効果検証と制度充実
- ③ オフィスアワーの状況把握と見直し、学生との読書会、研究会の組織化
- ④ 学生相談室、保健室、カウンセラー配置による学生相談体制の充実
 - ・相談体制の強化と適切な利用方法の周知
 - ・関係教職員の連携による多面的な支援
- ⑤ 課外活動の活性化と学生交流の機会提供
 - ・大学が公認する課外活動団体の支援と紹介
 - ・公的機関との連携ボランティアや一般のボランティアの周知と助言
 - ・学内学生イベントへの支援と学生の相互交流の機会提供

5. 学修環境の整備

- ① 学修環境の整備
- ② 利用者（機能性、利便性等）優先のレイアウト変更による1階スペースの有効活用
- ③ 日本関連資料（言語、文化等）の収集、提供による留学生教育の支援
- ④ 学生や教員との協働によるコラボ企画（特別コーナーの設置等）の実施
- ⑤ 積極的かつ効果的な情報発信（SNS、広報誌等）による利用者層の拡大
- ⑥ 教員や他部署との情報共有による学生ニーズ（卒論テーマ、希望進路等）の把握
- ⑦ 公共図書館や他大学図書館との連携による利用者サービス（相互貸借等）の向上
- ⑧ 施設・設備の利便性向上

6. 学生の意見・要望への対応

- ① 在学生の学生生活アンケート調査
 - ・調査結果の分析や懇談会の意見から、前年度の学修支援の効果検証
 - ・学生の要望への随時対応

- ② 学長と学生との懇談会
 - ・学生の意見・要望の収集
 - ・関係委員会や各部署での精査と対応検討
- ③ 卒業生アンケート調査（SNS対応）
- ④ 学長専用メールアドレスの周知

7. 単位認定、卒業認定、修了認定

- ① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーの整備
 - ・教務委員会によるディプロマ・ポリシーの点検等を行う。
 - ・ディプロマ・ポリシーの学生への周知徹底をはかる。
- ② ディプロマ・ポリシーを踏まえた各種制度などの見直し検討
 - ・ディプロマ・ポリシー対応ルーブリックについて、令和7年度入学生より一部改善・運用した結果を踏まえて検証する。【四大】
 - ・ディプロマ・ポリシー「達成度シート」の見直しを検討し、運用する。【短大】
 - ・原級留置制度の廃止による影響を検証する。【四大】
 - ・退学勧告制度の廃止による影響を検証する。【短大】
- ③ 外国人留学生(外国にルーツを持つ学生含む)にも配慮した成績評価について検討し、運用する。

8. 教育課程及び教授方法

- ① カリキュラム・ポリシーの策定と周知
 - ・令和7年度カリキュラム変更の準備を進めるとともに、それに伴うディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを運用し、点検する。
 - ・カリキュラム・ポリシーの学生への周知徹底をはかる。
- ② カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成
 - ・令和7年度カリキュラム変更等に伴う、新たなカリキュラムマップ・ナンバリングをし、点検する。
- ③ アクティブラーニングの実施状況の点検と高い実施率の維持
- ④ 実務家教員（非常勤講師）を含む全教員が取り組みやすいFD活動を検討し、実施する。

9. 学修成果の点検・評価

- ① アセスメントプランを策定し、学修成果の点検・評価方法を確立する。
- ② 学修状況の把握・分析、フィードバック
 - ・GPS-Academicの受検結果データとディプロマ・ポリシーの関連性を検証し、その活用方法を検討する。
 - ・「学修の記録」や「ディプロマ・ポリシー対応ルーブリック」等の評価結果を分析し、学生へのフィードバックにつなげる仕組みを検討する。【四大】
 - ・「学修の記録」や「ディプロマ・ポリシー達成度シート」等の評価結果を分析し、学生へのフィードバックにつなげる仕組みを検討する。【短大】

10. 職員の研修

- ① SD(Staff Development)への取り組み推進
- ② IRer 資格取得の推進
- ③ 修学特別支援や人権意識の知識力や対応力向上

11. 研究支援

- ① 研究環境の整備と支援体制の確立
- ② 研究倫理の確立と不正防止
- ③ 科研費等、外部資金獲得増進

12. 地域・産学連携

- ① 地方自治体、地域団体、地元産業界等との連携事業の推進
- ② 専門知識を活かした研修・講座の提供
- ③ 地域の課題解決に向けた実践的活動の推進と地域教育実践活動記録集の発行

13. 国際交流

- ① 留学生受け入れの体制強化
- ② 海外研修の企画・実施
- ③ 学生・教職員の国際交流活動の推進

14. 内部質保証の強化

- ① IR(Institutional Research) 機能の整備
- ② PDCA サイクル確立及びその機能性の向上

15. 補助金獲得の強化

- ① 私立大学等改革総合支援事業等の補助金獲得に向けた検討

【びわこ学院大学教育福祉学部】

1. 子ども学科・スポーツ教育学科共通

- ① 両学科の新7コースの実践の2年目としての着実な推進
- ② 各種審議会、委員会、プロジェクトへの参画、地域貢献
- ③ 地域課題に根差した研究と教育実践の推進
- ④ 学びの基礎力を育む「スタディスキルズ」と、将来を見据えた進路設計を支援する「キャリアデザイン」の充実による学部としての教育機能とキャリア支援体制の強化
- ⑤ 教育水準の向上に資する教員養成機関として、教育委員会との連携強化
- ⑥ 地域社会の持続的発展に貢献できる「地域の中核的人材」の育成と進路保証
- ⑦ 外国人留学生への日本語指導の推進

2. 子ども学科

- ① 教育・福祉を超えた広い分野で社会に貢献できる人材の育成
- ② 子ども学基礎演習Ⅰ、Ⅱの充実と地域とのつながりを密にした「わくわくフェスタ」の企画・運営
- ③ 教育・保育実習前の体験活動やインターンシップの授業を通じて、実社会とつながる学びを推進し、実践的な力を育む教育の展開
- ④ 教員を目指す学生へのきめ細かな支援や就職活動に向けた段階的なキャリア支援

3. スポーツ教育学科

- ① スポーツ・教育に関する専門性を持ち幅広い分野で社会に貢献できる人材の育成及び網羅的学習環境の整備
- ② スポーツ人材育成プログラムにおける体験・実習型活動の拡充と地域交流
- ③ 障害を含めた多様な子どもを支援する人材の育成強化及び活動の拡充

- ④ スポーツ教育学科における IR 情報の有効活用を目指した取り組み

【びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科】

1. 児童学コース
 - ① 地域社会に根差し、地域に貢献できる人材の育成
 - ② 採用試験対策と魅力ある保育者育成のための保育教材研究の強化
 - ③ 保育の専門性を高める取組の充実
 - ④ 保育関係以外の進路を選ぶ学生への支援の充実
2. 健康福祉コース
 - ① 滋賀学園高等学校との高大連携事業を実施し、地域貢献に寄与する
 - ② 介護福祉士試験の合格率 100%を目指す
 - ③ 実習施設との連携を深め、質の高い介護実習教育を展開する
3. キャリアデザインコース
 - ① 滋賀県インターンシップ推進協議会や県内外の市役所における就業体験の実施
 - ② 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の履修学生の増加
 - ③ 情報関連の検定試験と公務員採用試験に対する試験対策の強化

【年間行事計画】

1. 入学式、新入生オリエンテーション、卒業証書・学位記授与式
2. 各種講習等
 - ① 保育士等キャリアアップ講習(滋賀県・滋賀県保育協議会)全12回
5/ 9(土) 5/16(土) 5/23(土) 5/30(土) 6/ 6(土) 6/13(土)
6/20(土) 6/27(土) 7/11(土) 7/18(土) 7/25(土) 8/ 1(土)
 - ② 保育士試験受験者を対象にした試験対策講座(滋賀県)
 - ③ 環びわ湖大学・地域コンソーシアム
大学地域連携課題解決支援事業、理系人材育成体験プログラム事業
 - ④ 近江鉄道のイベント(ガチャフェス)における「キッズトライアルin東近江」
の実施
3. キャリアサポート支援事業
 - ① 本学教職員による公務員・一般企業就職・教職採用対策講座
 - ② 東京アカデミー講師による対策講座
 - ③ 論作文・面接対策講座、指導実技・専門実技対策講座
 - ④ 就業体験・インターンシップ支援
 - ⑤ 学内合同企業説明会
4. 実習連絡協議会
5. 高大連携
滋賀学園高等学校・彦根翔西館高等学校・石部高等学校・日野高等学校・
能登川高等学校・水口高等学校・愛知高等学校・
滋賀県立高等学校生徒対象の連続講座
6. 交通・生活安全(春学期)・防災訓練指導(秋学期)
7. 人権・ハラスメント研修会(学生対象・教職員対象各1回)
8. 大学祭 11/3(火・祝)
9. FD研修会
10. SD研修会

11. オープンキャンパス

第1回 4/19 (日) 第2回 5/24 (日) 第3回 6/14 (日)
 第4回 7/ 4 (土) 第5回 7/19 (日) 第6回 8/23 (日)
 第7回 10/18 (日) 第8回 11/28 (土) 第9回 3/21 (日)

12. 入試相談会&AO事前説明会

第1回 8/ 1 (土) 第2回 9/13 (日) 第3回 11/ 3 (火・祝)

13. 入学者選抜 (びわこ学院大学)

入試種別と試験日一覧

試験日	入 試	備 考
6/14(日)	外国人留学生選抜 (秋季入学)	
9/26(土) 〔予備日〕 10/3(土)	総合型選抜<AO> (A日程) 総合型選抜<スポーツ評価> (前期)	スポーツ教育学科
9/27(日) 〔予備日〕 10/4(日)	総合型選抜<AO> (A日程) 総合型選抜<スポーツ評価> (前期)	子ども学科
11/14(土)	学校推薦型選抜<公募推薦> (前期)	
11/15(日)	学校推薦型選抜<公募推薦> (前期) 編入学選抜 (指定校・I期) 総合型選抜<自己推薦> 外国人留学生選抜 (I期)	
11/21(土)	学校推薦型選抜<指定校推薦> 学校推薦型選抜<系列校推薦> 総合型選抜<AO> (B日程)	
12/12(土)	学校推薦型選抜<公募推薦> (後期) 総合型選抜<スポーツ評価> (後期) 外国人留学生選抜 (II期) 社会人選抜 (I期)	
1/16(土), 1/17(日)	大学入学共通テスト	滋賀県立大学共同実施
2/2(火)	一般選抜(前期)	
2/3(水)	一般選抜(前期) 編入学選抜 (II期) 外国人留学生選抜 (III期) 社会人選抜 (II期)	
3/10(水)	一般(後期)	

3 滋賀学園高等学校

(1) 主な教育の概要

滋賀学園高等学校は、創始者森はなが昭和8(1933)年に開設された和服裁縫研究所を起源とする。昭和59(1984)年、建部北町に八日市女子高等学校を開校以来、「誠実・忍耐・努力」を校訓に掲げ、「社会に貢献できる人間の育成」、「進取の精神と剛健な身体の育成」、「豊かな人間性の育成」を教育方針とし、教育活動に取り組んできた。平成11(1999)年には、男女共学化に伴い、校名を滋賀学園高等学校とし、令和6年(2024年)には、滋賀県初の看護科・看護専攻科〔5年一貫教育課程〕を開設した。「国際化」「情報化」「少子高齢化」など、時代の情勢や多様化するニーズに柔軟に対応しつつ、地域社会に貢献できる人材の育成を目指した教育活動を展開している。

(2) スクールポリシー

●求める生徒像（アドミッションポリシー）

本校の校訓「誠実・忍耐・努力」を理解し、学習や学校生活を通して自己を高め、将来、社会に貢献できる人間の育成を目指す。その理念に共感し、本校で学ぶ意欲をもつ次のような生徒を求める。

【普通科】

本校での学びを通して、他者を思いやりながら自らの可能性を伸ばし、主体的に進路や人生を切り拓こうとする生徒。

1. 誠実かつ忍耐強く物事に取り組み、最後まで努力できる生徒
2. 自ら目標を定め、主体的に学習や活動に取り組める生徒
3. 思いやりと感謝の心を持ち、他者と協調して行動できる生徒
4. 他者の意見を尊重し、自分の考えを適切に表現できる生徒
5. 社会に貢献しようとする意識を持ち、基本的な生活習慣や健康管理ができる生徒

【看護科・看護専攻科】

本校での学びを通して、生命を尊重し、社会に貢献する看護師を目指して努力できる生徒。

1. 誠実かつ忍耐強く学習や実習に取り組み、責任ある行動ができる生徒
2. 看護師になるという明確な目標を持ち、主体的に努力できる生徒
3. 思いやりと感謝の心を持ち、人と真摯に関わることができる生徒
4. 他者の話を丁寧に聴き、自分の考えを適切に伝えられる生徒
5. 看護職を志す者として、自身の生活や健康を適切に管理できる生徒

●教育課程の編成と達成目標（カリキュラムポリシー）

本校は、生徒一人一人の能力・適性・進路意識に配慮し、将来の希望や目標の実現を支える教育課程を編成する。

【普通科】

基礎・基本を重視した学習を基盤に、主体的・対話的な学びを通して確かな学力と実践力を育成する。

英語教育やICTの活用、学校行事・部活動等を通して、国際的視野、協働性、自己成長力を養うとともに、系列大学との連携により進路意識を高める。

【看護科】

看護の基礎から専門までを体系的・系統的に学び、確かな学力と実践的な看護技術を身に付ける。看護観・倫理観を育成し、5年間で看護師国家試験受験資格を取得できる教育活動を行う。

これらの教育活動を通して、自ら考え、判断し、行動し、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

●卒業までに身につける能力（グラデュエーション・ポリシー）

本校は、教育課程の編成と達成目標（カリキュラム・ポリシー）に基づき、卒業までに次の資質・能力を身に付けた生徒の育成を目指す。

【全学科共通】

1. 基礎基本の学力を身に付け、主体的に学び、課題を発見し解決しようとする力。
2. 他者と対話・協働し、多様な価値観を尊重しながら目標に取り組む力。
3. 学校生活や諸活動で得た経験を自己成長につなげ、学び続ける姿勢。
4. 社会の一員としての自覚をもち、地域社会やグローバル社会に貢献しようとする態度。

【普通科】

1. ICTを適切に活用し、情報を判断・活用できる情報活用能力と情報モラル。
2. 基礎的な英語運用能力を身に付け、国際的視野をもって主体的に進路を選択する力。
3. 系列大学との連携を通して、高等教育へ円滑に接続できる学習習慣と主体性。

【看護科】

1. 看護に関する基礎的・専門的知識および技術を身に付け、対象を総合的に理解する力。
2. 望ましい看護観・倫理観を備え、生命と向き合う専門職としての責任感と態度。
3. 看護師国家試験受験資格の取得に必要な学力と、看護実践につながる基礎的能力。

本校は、これらの能力を備え、社会において自らの役割を果たし、より良い社会の形成に貢献できる人材の育成を目指す。

（3）重点目標と具体的実践

①確かな学力・発展的学力の育成

主体的・対話的で深い学びを重視した授業を実践するとともに、組織的な授業研究により教科指導力の向上を図る。あわせて、系列大学との高大連携を充実させる。

②自己実現（進路実現）に向けたキャリア教育の充実

自己実現に向けて自主的かつ粘り強く学習に取り組む生徒を育てる。計画的な授業時数の確保、個別指導、学内塾等を通して学力向上を図る。面談、進路講演会、模試分析などのキャリアサポートを充実させる。

③地域に貢献する人材の育成

公務員、教員、企業人として地域社会を支える人材を育成する。看護科・看護専攻科では、実習と学習を通して地域医療に貢献できる看護師の育成を目指す。

④海外留学の推進と実践的英語力の育成

姉妹校との交流を基盤に、長期・短期留学を推進し、英語による実践的なコミュニケーション能力と英語資格取得を支援する。

⑤ICTの積極的活用

ICT機器を活用した授業改善を進め、主体的・協働的な学びを通して、情報活用力、問題解決力、創造性を育成する。

⑥健全な心身と豊かな人間性の育成

学校行事、部活動、奉仕活動を充実させ、健全な心身と責任感を育む。部活動では競技力向上を図り、地域連携活動にも積極的に取り組む。

⑦信頼される学校づくり

教育相談・生徒指導の充実を図り、規範意識と人権意識を高め、いじめのない安心・安全な学校づくりを推進する。

⑧学校のブランド力向上と広報の充実

学校の特色や教育成果を積極的に発信するとともに、eスポーツ大会の開催やICTを生かした公開講座等を実施し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。

⑨施設・設備の充実

ICT環境や安全対策を含む教育環境の整備を進め、災害対応力の向上を図る。補助金や寄付等を活用し、人工芝張替えをはじめとした計画的な施設・設備の改修を行う。

⑩組織運営の強化

適切な教職員配置と計画的な研修を行い、組織力と危機管理体制の強化を図る。

4 びわこ学院大学附属こども園あっぷる

令和8年度 こども園の保育目標と具体的実践計画

本園は、「共に力強く育つ」を教育・保育理念に掲げ、子ども達一人一人が十分に自己発揮できるよう具体的な体験と環境を通した保育を基本として人格形成の基礎づくりに努めている。子ども・保護者・保育者・大学教員・地域の人々が共に学び合い、育ち合うことができるこども園を目指し、様々な人間関係の中で育つことにより子ども達は安心して活動し、より力強く生きる力の基礎を身につけ、子どもが主役の楽しい園生活を送れるように努める。

(1) 教育・保育方針に基づく計画と実践

- ・全体的な計画を基に、園児一人一人の発達の特徴をふまえた年間計画・月案・週案を作成し、育ってほしい10の姿を職員全員が共通理解した上で保育に当たる。
- ・職員は子どもが自ら遊びを展開できるよう環境を構成し、再構成を重ねながら子どもの主体性を育む。
- ・乳児期からジャングリングを活用し、運動遊びを通した体力づくりをする。
- ・異年齢交流（遠足、散歩、お店屋さんごっこ、延長保育等）

(2) 特色保育・・・3・4・5歳児を対象に4つの特色保育の実施

- ・ゴーゴーチア
3歳児は発表会に向けてチアを楽しみ、4・5歳児は運動会、学園祭で披露する。
- ・音の玉手箱
音の楽しさ、美しさを十分味わい豊かな心を育て、発表会で披露する。
- ・レッツパソコン
4歳児はひらがな遊びや音遊びを通して、5歳児は簡単なプログラミングにも挑戦しながらICTを身近に感じる。
- ・キッズイングリッシュ
講師不在で2年間開講していなかったが、保護者から英語を開講してほしいと多くの要望があり、大学非常勤講師を迎えキッズイングリッシュを再開する。外国語に親しむことを目的に、歌や踊り、簡単な会話を通して英語に触れる。楽しみながら「聞く力、真似る力」を育て、異文化への興味関心を育成する。
- ・キッズサッカー
大学の講師や滋賀県サッカー協会を招いてサッカーを楽しみ、体力の向上を目指す。

(3) 健康及び安全

- ・毎日の健康観察（機嫌・食欲・顔色等）と個々の疾病等に応じた健康状態の把握
- ・毎月の身体測定（4月・10月は四計測）と身体的虐待の早期発見に努める
- ・内科健診（4月・10月）・歯科検診（6月）・検尿・聴力、視力検査の実施
- ・フッ化物洗口の実施（5歳児…週2回）
- ・は・ハ・歯の教室の実施（東近江市派遣事業）年2回・・・3・4・5歳児
- ・命の安全教室の実施（5歳児）

(4) 食育の推進

- ・季節に応じた野菜の栽培（ジャガイモ・豆・サツマイモ・玉ネギ他）と収穫した栽培物を使ったクッキング

- ・東近江市主催「食と健康教室」への参加
- ・保護者の給食試食会を通して家庭への食育の関心を高める
- ・東近江市食育推進事業を利用したもちつき・赤飯作り

(5) 環境・衛生・安全管理

- ・「学校環境衛生基準」の内容を踏まえ、室内の温度や湿度の管理、換気の徹底
- ・園薬剤師による定期検査の実施（水質・調光・空気）
- ・害虫駆除（6月・12月）
- ・乳幼児が扱う用具や保育室の消毒等、常に清潔な環境を保つ。
- ・業者による園舎ワックスがけ（年1回、7月）
- ・次亜塩素水超音波噴霧器、空気清浄機を常設し、感染症対策を行う。
- ・月2回の安全点検は、園舎、遊具に加え、散歩先や大学グラウンド等、園児の行動を予測して行う。
- ・日々の保育で起きるヒヤリハットを職員間で共有し、事故防止に努める。
- ・保護者・職員による園庭の清掃作業（年4回）

(6) 災害への備え

- ・毎月の避難訓練に加え、不審者対応、通報訓練、消火訓練を行う。
- ・親子防災訓練と大学との合同避難訓練（年1回）を行う。
- ・災害の規模を想定し、規模に応じた避難の仕方を見直し、職員一人一人が適切な判断で避難できるようにする。
- ・大学との連携を強化し、園児を安全に避難させる協力体制を検討する。
- ・施設機能強化の補助金を利用し、防災頭巾や避難車等を購入し備える。
- ・BCPの策定

(7) 保護者支援・子育て支援

- ・スマホやタブレットに頼り、子どもとの遊び方がわからない保護者が多いため、外部の講師を招いて親子活動を開催する。（5月…幼児・10月…乳児）
- ・保育参加や保育参観等を実施し、保護者が保育を見る機会を設けることで安心して通わせることができるようにする。また、子育てへの不安や悩みに寄り添い信頼関係を築く。
- ・未就園児の親子を対象とした「あっぷる広場」の開催（年6回）に加え、第2・4水曜日を子育て相談日に設定し、子育て支援をする。
- ・発達に課題のある園児への保護者支援を丁寧に行う。
- ・ドキュメンタリーをより充実させ、子どもの育ちを保護者と共有する。

(8) 保幼小連携

- ・布引小学校との交流
音楽会（6月）・秋祭りへの参加（11月）・布引小学校教員の保育体験（7.8月）
布引小学校の教員による出前授業（3月）
- ・校区研・管理職研で情報交流をし、同じ目標を掲げて長いスパンで子どもの育ちを支える。
- ・小学校へのスムーズな就学にむけて5歳児のアプローチプログラムを作成する。
- ・不登校未然防止会議への出席
- ・船岡地区3園の5歳児交流（こども園あっぷる・ゆいの杜こども園・あかねこども園）

(9) 地域交流

- ・びわこ学院大学との交流
ごみ0運動・七夕コンサート・学園祭参加・クリスマス会等
- ・実習生・ボランティア・職場体験の受入れ
- ・東近江市主催の交通安全活動や人権大会等への参加
- ・市辺地区や布引団地などの住民を対象に、本園の保育教育を知っていただく機会として、地域交流会の開催を検討し、園児確保に繋げる。

(10) 職員の資質向上

- ・県や市の開催する研修への参加
発達支援研修・保護者対応研修・園内研究研修・新任研修・キャリアアップ研修等
- ・園内研究主任を中心に、園内研修を実施する。
園児のもつ課題から育ってほしい力を育てるための研究主題を設定し、ビデオカンファレンス・フォトカンファレンス等を用いて、多くの職員が参加できるように工夫する。
- ・人権研修を実施し、職員間や子どもの人権に十分に配慮した保育・職員の育成を行う。
- ・毎月職員の標語を掲げ、保育と共に自己評価を行い振り返り反省をし、次に生かす。

(11) その他

- ・早い時期から、次年度に向けての職員採用に取り組む。(大学での説明会等)
- ・パワハラやモラハラ防止の研修に参加し、どの年代にも働きやすい職場をめざす。
- ・カスタマーハラスメントの防止のための対応・対策の研修及び保育教諭の安全配慮への取り組み。
- ・「児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行に伴う対応。
- ・緑地地帯の劣化に伴い、人工芝を敷き、安全に戸外で遊べるようにする。
- ・猛暑対策による日差しの強さに対し、スライドルーフテントの設置。
- ・職員の姿勢
「明るい笑顔と優しい言葉がけ」をモットーに思いやりをもって日々の保育に努める。
保育の心「あいうえお」愛情・意欲・美しい言葉・笑顔・思いやりの実践に努める。
目の前の子どもの姿から、常に学び続け支え励まし合う職員集団を目指す。
一人一人の子どもを受容的・肯定的に理解し、丁寧な保育を行う。
- ・施設給付費の増額、東近江市補助金、清掃員の雇用、もちつき、備品購入等、補助金を最大限獲得する。
- ・東近江市補助金を活用し、清掃員やパートタイマーを雇用する。これにより職員の保育準備や書類作成の時間を確保する。

令和8年4月1日予定園児数

1. 園児数 68名 (新入園児20名……保育園19名、幼稚園1名)

区部 年齢・学級名	2・3号認定			1号認定			合計
	男	女	計	男	女	計	
	4月	4月	4月	4月	4月	4月	
あっぷる1組(0歳児)	1	1	2				10
(1歳児)	5	3	8				
あっぷる2組(2歳児)	8	2	10				10
あっぷる3組(3歳児)	7	7	14	0	1	1	15
あっぷる4組(4歳児)	6	7	13	0	2	2	15
あっぷる5組(5歳児)	7	9	16	0	2	2	18
合計	34	29	63	0	5	5	68

途中入所予定…8月・2月・3月に0歳児3名、入園予定

2. 職員数

常勤 (園長、副園長、主幹保育教諭、保育教諭) : 16名
 時短職員 : 1名
 非常勤 (保育教諭) : 4名
 事務 (兼務) : 2名

合計23名

令和8年度＜年間主要行事計画＞

月	日 旬	園 行 事			日	健康安全な行事	日	地域に開かれたこども園の取り組み (子育て支援・小中高大連携含む)
		園 内	日	園 外				
4	6 6 10	新入園児保育開始 はじまりの会 あっぷる集会 幼児保育参観		大学構内、園周辺散策		内科検診 は・ハ・歯の教室		保育参加（毎月）
5	7 12～	あっぷる集会 全員個別懇談		大学構内、園周辺散策		検尿 視力検査・聴力検査 交通安全教室	13 29	あっぷる広場① ゴミ0運動
6	4 5 24	あっぷる集会 親子防災訓練 プール開き		近隣公園散策	6 3	害虫駆除 歯科検診 食と健康教室	17	あっぷる広場②
7	7 17 21	七夕あっぷる集会 終業式 1号認定児 夏休み	1	社会を明るくする運動			15	あっぷる広場③
8	3	あっぷる集会	6 6	5組 大風会館見学 1号認定児 登園日	27 28	プール終了 プール掃除		
9	1 2 30	始業式 あっぷる集会 運動会		大学構内散歩				
10	1 16 20	あっぷる集会 電車遠足 乳児親子活動	16	電車遠足 いきものの森 近隣公園散歩		内科検診	14	あっぷる広場④
11	1 3 4	創立記念日 びわこ学院大学学園祭に参加 あっぷる集会	27	親子布引焼き体験（5歳児）			18	あっぷる広場⑤
12	1 3 24	あっぷる集会 もちつき大会 クリスマス会 終業式 希望個別懇談		大学構内散策		は・ハ・歯の教室 害虫駆除		
1	8 12	始業式 あっぷる集会		布引グリーンスタジアム散策				
2	2 3 13	ししまい あっぷる集会 あっぷる発表会		大学構内散策			2	ししまい (あっぷる広場⑥)
3	5 10 19 24	あっぷる集会 新入園児1日入園 お別れ会 卒園式 終業式	8	お別れ遠足			6 6	5組親子清掃 保護者役員会
	あっぷる集会で誕生日のお祝い ＜大学教員を講師に招いた教室＞ (パソコン・リトミック・チア・ イングリッシュ・サッカー)		毎朝の体操 マラソン・サーキット遊び ジャングラミング		避難訓練（毎月） 身体計測（毎月） 安全点検(月2回)		びわこ学院大学教育とのふれあい 学生ボランティアの受け入れ 近隣中・高等学校との交流 布引小学校との交流	